



加古川市立加古川中学校  
エネルギー教育モデル校通信

No. 11

2015/9/25

## グリーンスクールに選ばれました

昨年8月25日に「エネルギー教育モデル校」に認定されてから、ちょうど1年と1ヶ月となりました。何かしたかなあと思っている生徒もいるかもしれませんが、何と、この1年間の活動に対して、兵庫県が「グリーンスクール」として、本校を表彰することとなりました。

「グリーンスクール」とは、兵庫県内の公立小・中・高等学校の中で、環境教育について特色ある実践を行っている学校を表彰する制度で、毎年、県内から10校程度表彰されています。本校が、今年度、その10校の中の1つとして選ばれました。表彰の際には、次のように紹介される予定です。

### 「これからのエネルギーと私たちの暮らし」

持続可能な社会を意識させ、自分たちの暮らしへの関心を持たせるため、1年生では、熱帯雨林の減少の原因とその影響を考えることにより、地球温暖化についての学びを深め、地球温暖化を防ぐため自分たちにできる省エネルギーについて考えている。2年生では、日本は多くの資源を輸入に頼っており、エネルギー自給率が6%であることや、様々な発電の仕組みを学んでいる。他教科との関連も図り、発電の仕組みを理解し、蒸気がタービンを回すことで発電することや発電技術によって変換効率が異なることについて学習している。こうした活動を通して、手洗い等での節水や使用していない教室の電気を消すといったエネルギーに関する意識の変化が見られるようになっている。

さらに、生徒がエネルギーをより身近に感じ、自分の将来の暮らしをイメージできるよう、地域の太陽光発電施設の見学、電気代測定や表面温度測定など、体験的な活動から学びを深めている。

今後、エネルギー教育を牽引する生徒のリーダー養成を図るとともに、PTAと連携し、環境問題について家庭や地域に向けて積極的な発信を進める。

表彰式は、10月22日（木）に、兵庫県公館で行われます。本校からは、校長先生とモデル校担当の原明誉先生、生徒を代表して生徒会長の酒井さんが出席します。この模様は、次号でお知らせします。

# エネルギー教育モデル校副教材配布

遅くなりましたが、5月のこの通信でお知らせした副教材を、ようやく配布できることとなりました。文化発表会後に、1人1冊配布しますので、大切に使ってください。保管方法については、担任の先生から指示があります。

この副教材は、理科、社会科、技術・家庭科の授業や総合的な学習の時間に使う予定です。興味のある人は、授業以外でも是非読んでください。できれば、難しい言葉や用語を辞書や書籍、インターネット等で調べてみましょう。「エネルギーに関して調べ、学ぶ秋」もいいですよ。挑戦してみましょう。



## エネルギークイズ

1年ぶりのエネルギークイズです。2・3年生は、全問正解できますね。とりあえず、7問以上は正解したいですね。さあ、やってみましょう！

- ①日本で行われている発電のうち、最も発電量が多いのは？  
ア 火力発電    イ 水力発電    ウ 原子力発電    エ 風力発電
- ②次の家電のうち、時間あたりの消費電力が最も多いのは？  
ア パソコン    イ 扇風機    ウ 電子レンジ    エ テレビ
- ③再生可能エネルギーでないのは？  
ア 風力発電    イ 水力発電    ウ 太陽光発電    エ 火力発電
- ④次の中で一人あたりの電力消費量が最も多い国は？  
ア 日本    イ アメリカ    ウ カナダ    エ 中国
- ⑤次の中で原子力発電による発電量が多い国は？  
ア 日本    イ アメリカ    ウ ドイツ    エ フランス
- ⑥次のうち、日本のエネルギー自給率（輸入に頼らない割合）は？  
ア 6%    イ 16%    ウ 36%    エ 56%
- ⑦次のうち、省エネに効果がないのは？  
ア エアコンの掃除をする    イ 白熱灯を蛍光灯にかえる  
ウ 冷蔵庫に物をつめ込む    エ 不必要な電気は消す
- ⑧風力発電による発電量世界一の国は？  
ア 日本    イ ドイツ    ウ アメリカ    エ オランダ
- ⑨家畜の糞（ふん）など生物からうまれた「再利用できる資源」を何という？  
ア バーム    イ バイオマス    ウ バイオリン    エ バリカン
- ⑩残り少ないエネルギー資源の石油は、今のまま使っていくと、あと何年でなくなるの？  
ア 50年    イ 80年    ウ 100年    エ 200年